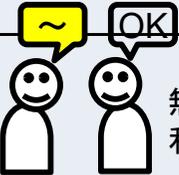


無線環境管理のための無線環境評価手法の研究開発

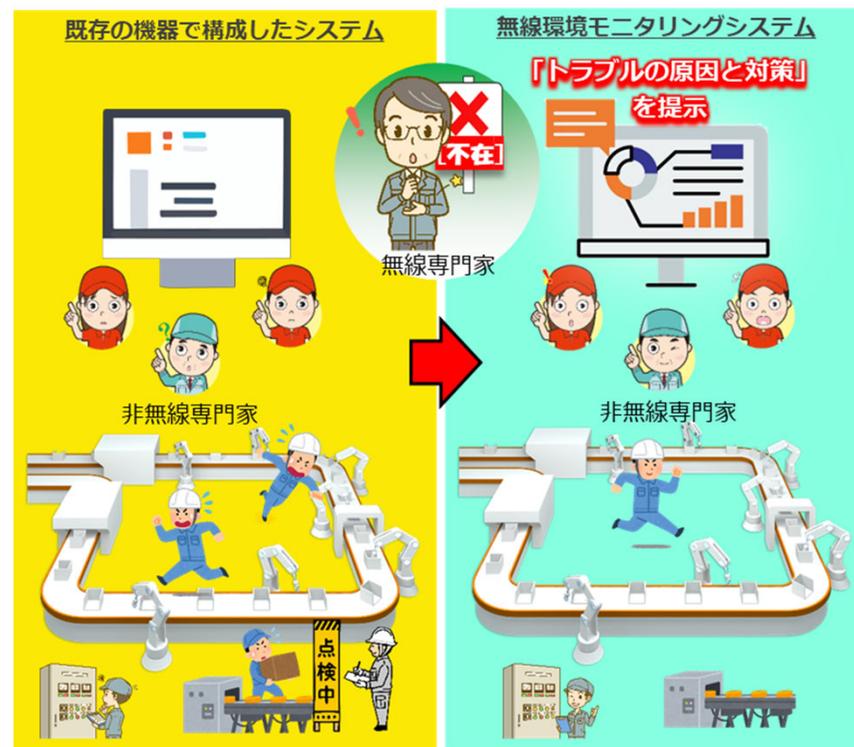
利用者の無線知識レベルに応じた無線環境モニタリングシステムの研究開発

研究概要：本研究開発は、無線通信の専門家による無線環境の調査、分析を肩代わりする無線環境のモニタリングシステムを開発し、無線通信トラブル発生から解決までの時間を1/2以下にすることを目的としている。利用者の無線知識に合わせて原因と対策を提示できる分析処理と、必要となる無線環境情報の収集基盤を開発し、2026（令和8）年中の商用利用開始を目指している。具体的には、既に無線機器を使用している製造現場に導入し、無線通信トラブルによる現場運用への影響を低減することで、それに伴う生産効率や品質の低下、トラブル対応工数を削減することができる。

無線の専門家を肩代わりする無線環境モニタリングシステム

【現状】 専門家による無線環境調査、分析	アクション	【今後】 無線の専門家を肩代わりする無線環境モニタリングシステム
無線環境の情報収集 	収集	 センサーが自動収集
原因推測、対策提示のための分析 	分析	 収集したデータを自動分析
解決方法の説明  無線利用者	行動示唆	 利用者の無線知識に応じた対策方法の提示

無線通信トラブル発生から解決までの時間を1/2以下



【研究開発期間】 令和5年度から令和7年度まで

【受託者】 サンリツオートメーション株式会社（代表研究者）、株式会社構造計画研究所